

令和8年を迎え、早いもので1ヶ月が過ぎました。まだまだ寒い時期が続いておりますが、路面凍結等にも注意しながら、引き続き安全安心を第一に「エコみらいひたち」の建設を進めてまいります。  
今号では、擁壁工の施工状況と施工管理ワーキンググループの開催状況をお知らせいたします。

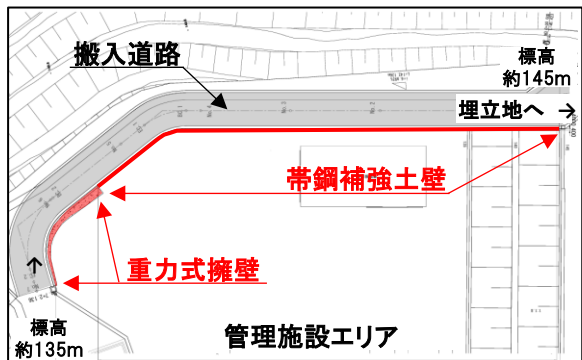


## 擁壁工の施工状況

管理棟や展開検査場を整備する管理施設エリアは、計画上の高さとなる標高約135mまで盛土工事が進んだことから、廃棄物の運搬車両が管理施設エリアから埋立地内に入るための搬入道路の整備を開始しました。

この搬入道路の入口(約135m)と出口(約145m)の高低差は約10mとなるため、現在、「重力式擁壁」と「帯鋼補強土壁」の2種類の擁壁構造により、搬入道路側面の補強工事を行っています。

「重力式擁壁」は、コンクリート自体の重さで背後の土圧を受け止めて安定させる擁壁で、「帯鋼補強土壁」は、コンクリート製の壁面材と鋼製の帯状補強材により安定性を確保して垂直な壁面を構築する擁壁です。



＜埋立地への搬入道路と擁壁工計画図＞



＜重力式擁壁＞



＜帯鋼補強土壁＞

### 【お問い合わせについて】

担当：一般財団法人 茨城県環境保全事業団 新最終処分場整備日立事務所  
電話：0294-33-8731 E-mail: seibi@ef-kasama.or.jp  
その他：工事に関するお知らせは、茨城県環境保全事業団の  
ホームページ(<https://ef-kasama.or.jp/newfacility/info>)  
又は二次元コードからご確認いただけます。





## 第3回施工管理ワーキンググループの開催状況

昨年12/13(土)に多賀図書館にて、第3回施工管理ワーキンググループを開催しました。

今回のワーキンググループでは、「遮水工の施工方法・品質管理方法」と「浸出水処理施設の設計」について審議され、地元代表者が傍聴する中で、各専門家からの質疑が行われました。

提案した施工方法・品質管理方法や設計内容については、概ね問題ないとのご意見をいただきましたので、各専門家からいただいた助言も取り入れながら、引き続き、処分場の完成に向けて着実に工事を進めてまいります。

また、当日は各専門家による現地視察を行い、工事の進捗や施工状況を確認していただきました。



＜施工管理ワーキンググループの様子＞



＜現地視察の様子＞

## 上下水道工事に伴う交通規制予定箇所（2月）



## 処分場建設工事中の環境モニタリング

### ● 大気質(10月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。

### ● 騒音・振動(10月測定)

工事の影響はほとんどなく、全ての地点で環境基準値未満でした。

### ● 地下水(10月測定)

工事の影響はほとんどないことを確認しました。

環境モニタリングの詳細な結果は、事業団のホームページで公開しています。



処分場建設工事中の環境モニタリング結果



処分場建設工事中の環境モニタリング実施地点